

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東北)		-	-	-
		商店街（代表者）	販売量の動き	・天候にも恵まれ、来街者は引き続き増加傾向にある。一部の物販店舗では、ボーナス効果の声も聞こえており、サービス関係、飲食店においても明るさがみられている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・季節が夏に向かっており、好天で交通量や客の動きも良く、夏物の動きに確実に繋がっている。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	お客様の様子	・ベストセラーなどがそれほど多くないにもかかわらず、売上は多少良くなっている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・6月は高額商材が売れ始めており、客単価が非常に良くなっている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・前半は天候が寒く厳しかったものの、中旬からさくらんぼのトップシーズンに入ったことで、観光客の土産品の動きが良くなっている。また、徐々にではあるが、飲食店への生ビールなどの販売量が増えている。今まで低空飛行していた売上が、ようやく上向きになってきたと実感できてほっとしている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・一時期に比べると高額商材に対する顧客の関心が戻ってきているのか、宝飾品やブランド品などの売上が伸びてきている。また、低調であった婦人服でも、前年を上回るショップが出てくるなど全体的に購買意欲が高まってきている。食料品も、催事で話題の商品を展開すると、行列ができるなど好調である。
		百貨店（経営者）	販売量の動き	・ここ数か月、高額商材、婦人衣料、食料品の販売量が微増しており、全体の売上を押し上げている。力強さはまだみられないものの、少しずつ回復してきている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今月は天候も良く、祭りもあったため、来客数が伸び売上も増加している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣店舗が改装中のため、来客数が増えている。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・次世代たばこの販売量が増加している。また、焼き鳥、フライドチキンなどのカウンター商材の販売も好調であり、プラス1品の購入につながっている。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・天候が良いこともあるが、客単価が上昇しており、買上点数も増加している。客の購買意欲が上昇していることを実感している。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・単価は横ばいで推移しているが、一時期と比べて、客の来店頻度が高くなってきている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・競合店の影響はあるものの、売上はそれほど悪くない。天候も比較的良好であり、土日の行楽客を獲得することができている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・消費税増税、大手自動車メーカーの燃費不正問題などの影響が薄れ、新型車を中心に新車の販売量が伸びている。
		住関連専門店（経営者）	単価の動き	・小物商品の販売量が比較的堅調に推移しており、単価も若干の上昇傾向にあるため、売上が増加している。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・今年の6月はスポーツ大会などが非常に多く、そのレセプション関係で宿泊や宴会部門が潤っている。街なかは過去にないほどに人の往来があり、その波及効果は大きい。
	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・団体旅行は順調に推移しており、個人旅行も直販に関しては伸びてきている。ただし、提携販売については、格安旅行代理店の破産問題もあり、客は小さな店舗に来店しなくなっている。	
	旅行代理店（店長）	お客様の様子	・国内旅行、海外旅行共に予約数が増えている。特に、沖縄方面の団体旅行が良い状況である。	
	遊園地（経営者）	来客数の動き	・出足の遅かった学校などの団体申込が回復してきている。また、雨が少なく安定した天候もあり、前年よりも順調に推移している。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街の客層は高齢化が進んでいる。平日は、年金支給日にあわせた大ワゴン市などのイベントにより、来客数の減少は食い止められているが、休日は郊外店舗に流出してしまう。財布のひもも固く、景気回復感がない。	

一般小売店 〔酒〕（経営者）	単価の動き	・来客数が若干減少しているものの、客単価は上がっている。
一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・今年に入ってからは、ほとんどの月で前年を上回っており、平均して107～108%となっている。3か月前も良い状態であり、その勢いは今月も続いている。また、客の買上点数が前年よりも増えており、その傾向は化粧品もヘルスも同様である。
一般小売店〔カメラ〕（店長）	販売量の動き	・販売量は減少傾向にあるものの、高額商材に動きがあったことで、全体の売上をカバーしている状況である。
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・百貨店を中心に売上の前年比マイナス傾向が続いている。特に地方百貨店のアパレルは厳しい状況が続いている。
百貨店（売場担当）	来客数の動き	・全体的に景気回復の動きがないなかでは、来客数が大きく増えることはない。また、例年6月はオケーション需要のない月であるため売上が厳しい月となるが、今回顧客への動員イベントを行ったことで、売上に大きな変動はない。しかし、顧客への動員イベントがなければ前年比90%を下回った可能性がある。
スーパー（経営者）	単価の動き	・6月の平均1品単価の前年比は前月よりもやや落ちている。ただし、来客数は横ばいであるものの、価格の見直しもあって買上点数は前月並みとなっており、全体として横ばいで推移している。
スーパー（営業担当）	来客数の動き	・5月より来客数の前年比が微減傾向にあり、今月はぎりぎり前年並みを維持している。また、消費者は特売など買い回りをやっている。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・除染作業や建設関係の仕事がほぼ終わっており、なかなか景気が上向く余地がない。かなり落ち込んだ状態が継続している。
衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・例年より早くサマーセールをスタートしているが、フリー客の買上点数が悪い。また、顧客も購入には慎重であり、単価が10%ほど落ちている。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・夏物商戦は、次年度に持ち越す企業が多く、事務服や作業服の動きが芳しくない。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・気温がなかなか上がらないため、フリー客の購買意欲が向上しない。したがって、従来からの顧客で売上を維持している状況である。
衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・セレモニー、ビジネス需要などの目的買いが減少し、カジュアルにおいても低単価商品中心の動きとなってきたり、売上確保が難しい状態である。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・気温の影響で、クールビズ商品のワイシャツ、スラックスの売行きが大きく低迷している。
衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・来客数、客単価共に、かろうじて前年並みを確保している。ここ2年間同じ状況で推移しており、景気の回復が実感できない。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・特別セールを行い、前年以上の売上となっているが、セール以前の来客数は前年並みとなっている。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・涼しい時期があったため、6月前半はエアコンなどの季節商材が伸び悩んでいた。ただし、後半からは梅雨の湿気のためにエアコンの売上が伸びている。冷蔵庫、洗濯機などは買上単価が上昇しており前年を上回っているが、期待していた4Kテレビがそれほどでもなく、テレビ関係は前年並みで推移している。また、来客数が前年比2%ほど減少しているものの、単価のおかげで売上は前年をクリアしている。
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・例年であれば、ボーナス時期には個人客の販売量が増えるが、今年はあまりその傾向はみられていない。
住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・今月はなかなか物件が決まらずにぎりぎりの納品となり、成約が重なったため、3か月前とほとんど変わらない販売量となっている。
住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・通行量や来客数が増えない。売上も横ばいである。
その他専門店〔酒〕（経営者）	単価の動き	・6月から、酒類の販売に厳しい基準が設けられている。主に安い商品が対象となるが、売場も客も今月は様子見で商品は動いていない。純米吟醸酒、純米酒といった従来から堅調な商品はまずまずであるものの、伸びが鈍化しているように見受けられる。
その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・値下げ商品や低単価商品の動きが活発であり、客単価が低下している。

その他専門店 〔白衣・ユニ フォーム〕(営 業担当)	販売量の動き	・低価格帯のものではあるが、夏物の販売量が良い。ファン付の作業服などは西日本でかなり売れていると聞くが、東北ではさっぱり売れていない。やはり土地柄もあるのだろうか。
その他専門店 〔ガソリンスタ ンド〕(営業担 当)	販売量の動き	・気温が高く、ボイラー用の燃料の消費量が減っている。また、冷房用の燃料が石油系から電気に移行してきているため、石油燃料の需要が減少している。
その他専門店 〔ガソリンスタ ンド〕(営業担 当)	販売量の動き	・状況に大きな変化がない。
高級レストラン (支配人)	お客様の様子	・6店舗あるレストランのうち、5店舗が例年に比べて苦戦を強いられている。好調な店舗は節目会食などの影響によりプラスで推移しているものの、時期的な要因でもあるため楽観視はできない。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・全体的な来客数の動きにあまり変化はないが、多い時と少ない時の差が大きい。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・良い日と悪い日の差が激しすぎる。良い日であっても、満席となる団体客が1件のみという場合が多い。そのため、少人数の客での満席と違い、新しく来た客を入れることができない。ひどい時は1日で1～2組の客しかいない時もある。そのため、全体的な景気が良いかといえそうではない。
一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・さくらんぼのシーズンのため、県外からの客でにぎわったが、地元客の動きに変化はない。全体的にはいつもと変わらない状況で推移している。
観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・宿泊客数の伸びが今一つの状況が続いている。
観光型ホテル (スタッフ)	単価の動き	・来客数は伸びているものの、単価が目標を下回っている。
観光型旅館(ス タッフ)	単価の動き	・宿泊単価の上昇を期待していたが、結果はほぼ5月の宿泊単価と同じ状況である。宿泊人数は前年を上回ったものの、売上は10%減少している。
旅行代理店(店 長)	販売量の動き	・夏に向けて顧客の動きが活発化するような気配がみられない。
旅行代理店(従 業員)	販売量の動き	・北朝鮮や欧州を始めとした世界情勢不安が続いており、販売量の増加にはつながらない。
通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・顧客の設備投資意欲に変化がみられていない。
通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・新規加入者はそれほど増えていないが、解約者が大幅に減ってきている。そのため、少しずつではあるものの、総加入者の減少は抑えられてきている。
通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・新サービスがなかなか売れない。また、商談ではコスト削減の要求が中心である。
通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・客からは、安価なサービスを要求されている。
観光名所(職 員)	販売量の動き	・来客数、販売量共に前年比は横ばいで推移している。
美容室(経営 者)	来客数の動き	・新規客の再来店率の低下と、顧客の再来店率が90%台という状況が、ここ数か月続いている。
その他サービス 〔自動車整備 業〕(経営者)	来客数の動き	・全体的な景気の印象は中の上くらいであるが、良くなっている様子はない。ただし、来客数は微減しているものの、成約率は微増している。
住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・民間工事の受注量は計画どおりであるものの、公共事業の発注数が少なく、良い状態とはいえない。
その他住宅〔リ フォーム〕(従 業員)	来客数の動き	・増改築工事などのリフォームの問い合わせが前年より減っている。
商店街(代表 者)	来客数の動き	・商店街の景気は廃業、移転と良いところがない。飲食店も、新規参入かと思えば居抜きであり、交代が激しい。
百貨店(総務担 当)	単価の動き	・前年と比較して客単価が低下している。贈答品を中心に単価や個数が減少しており、景気はあまり良くない。
スーパー(経営 者)	来客数の動き	・顧客の来店頻度が低下しているのか、既存店の来客数が減少している。
スーパー(経営 者)	お客様の様子	・可処分所得が伸び悩むなか、店頭商品のデフレ化が進んでおり、購入価格が低下している。

	スーパー（店長）	来客数の動き	・3～5月までは好調であったが、6月に入ってから来客数が前年を下回っており、厳しい状況が続いている。前年と比較して、天候の悪さ、気温の低さが影響している。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・3月に101.4%であった売上前年比が、6月は98.5%となっており、若干ながら悪化している。
	スーパー（営業担当）	販売量の動き	・競合店の出店により、エリア内での価格競争が激化している。客の取り合いになっており、店舗の活性化や価格対応で対策をしているものの、来客数の減少が売上の減少に直結している。また、6月後半になっても気温が上がらず、涼味商材の売行きが落ち込んでいる。さくらんぼの収穫も前年に比べて一週間以上遅れており、売上が低迷している。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の前年比マイナス幅が更に大きくなっている。前年よりもCMなどの露出は増えているが、実際の数字は反比例しており、回復の兆しがみえない。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3か月前と比較して、来客数の伸びはやや鈍くなっている。また、前年比でも落ち込みつつある。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数が減少傾向にある。
	家電量販店（従業員）	来客数の動き	・家電業界において、売上をけん引するような商品が見当たらない。4Kテレビの動きは少しずつ良くなっているが、それ以外の新商品は大きく伸びる様子がない。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・グランドオープンセールを実施し、計画以上の来客数があったものの、受注量は計画の30%で終わっている。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・大手自動車部品メーカーの倒産により、業界のイメージがダウンしている。
	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・売上が少し減少している。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・5月に戻りつつあった来客数であるが、6月は客足が鈍く、特にディナータイムは全く客がこない。
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・特別な要因は見当たらないが、消費に手控え感や目的買いの様子がみられている。そのため、例年と比較して、売上などはやや下回る傾向が続いている。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・新たなホテルの進出もあり、宿泊は前年を下回っている。さらに、宴会、レストランの前年比も落ち込んでおり、婚礼に関しては他社も同様に落ち込んでいる。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・今までも停滞していたが、今月に入り大幅に来客数が減少している。過去数年間の6月のなかで一番の落ち込みである。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・レストランの来客数、売上共に前年比が5%落ち込んでいる。
	通信会社（営業担当）	それ以外	・6月から各種生活関連商品が値上げしている。個々の収入は横ばいのままにもかかわらず支出が増えるため、消費者にとっては痛手となっている。
	観光名所（職員）	来客数の動き	・来客数が伸び悩んでおり、客単価も落ちてきている。
×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・震災以降、今月は来客数が最も少ない月となっており、平年の6月より16%も減少している。ただし、客単価が高く月間売上は平年をやや下回る程度となっている。客単価に救われたが、この地すべりの来客数の減少は今後に大きな不安を残している。この来客数の減少は、主に低単価層の来店頻度の減少からきているが、これが景気悪化を意味しているのか、ネット通販などに需要を取られたのか判断しかねている。
×	一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・顧客の買い控えが続いており、夏物商材の購入時期であるにもかかわらず、商品の動きが止まっている。
×	百貨店（買付担当）	お客様の様子	・消費マインドが低下しており、節約志向が更に進んでいる。特別招待会なども集客につながらない状態である。
×	スーパー（店長）	競争相手の様子	・6月に競合店がディスカウント路線として改装オープンしており、影響が大きくなっている。
×	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・オーダー部門では夏服の需要は終わっており、服の修理がかるうじて残っているのみである。
×	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・天候不順もあり、全体的に夏物衣料の動きが悪く苦戦している。気温が上がらないため、客は今あるものでなんとかしようとしている。

	x	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・景気は非常に冷え込んでおり、同業者も良くない様子である。
	x	競艇場(職員)	単価の動き	・休館日があったせいか、来客数がかなり落ち込んでいる。客の入りも悪いが、購入単価の減少が特に目立っている。
企業 動向 関連 (東北)		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・地方公共団体の各種補助金が始まり、天候も良いため、受注量は順調に推移している。
		食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・大きな祭りもあり、駅構内の売店が好調である。また、お中元もスタートしたが、こちらの出だしはあまり良くない。
		金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・取引先の売上が好調であると聞いている。
		建設業(従業員)	受注量や販売量の動き	・年度をまたいだ大型案件などの受注者が決定してきており、3か月前と比較して景気は良くなってきている。
		金融業(広報担当)	受注価格や販売価格の動き	・住宅新築ニーズは依然として堅調であるものの、顧客が検討する価格帯が低下している。結果的に、中央資本の大手住宅メーカーよりも、地元資本の中規模業者がニーズを拾いやすい状況となっている。
		広告代理店(経営者)	受注量や販売量の動き	・地元の大きな祭りにかかわったこともあり、売上が伸びている。
		農林水産業(従業者)	受注価格や販売価格の動き	・雨量が少なかったため、さくらんぼの品質が良いものの、販売単価は平年並みとなっている。
		食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・他県からの旅行者や出張者などによる売上の増加はあるものの、それはイベントによるものであり、本質的な景気向上によるものではない。
		木材木製品製造業 (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・住宅部材の需給バランスが悪く、収益が低下している。
		窯業・土石製品製造業 (役員)	受注量や販売量の動き	・需要が堅調な地域も一部あるが、東北全体としてみれば状況は変わらない。
		電気機械器具製造業 (企画担当)	受注価格や販売価格の動き	・半導体製品の大口顧客価格が落ち着いてきている。そのため、業績計画に対して大きなギャップもなく推移している。
		建設業(企画担当)	受注価格や販売価格の動き	・手持ち工事の繁忙度の高い状態が続いている。
		通信業(営業担当)	取引先の様子	・納期対応など、価格以外でも厳しい要求が多く、受注しても困難な状況がある。
		通信業(営業担当)	取引先の様子	・取引先は設備投資よりも経費削減に力をいれている。
		金融業(営業担当)	取引先の様子	・企業に動きがあり、資金需要が出てきている。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・ショッピングセンターなどの大型商業施設では早めのバーゲンが始まっているが、消費意欲を刺激するまでには至っていない。
		コピーサービス業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・売上、販売量共にほぼ横ばいで推移している。
		農林水産業(従業者)	受注価格や販売価格の動き	・降雨量の少なさが、作物の生育に悪影響を及ぼしている。
		出版・印刷・関連産業 (経理担当)	受注量や販売量の動き	・3か月前と比較して、売上、受注残共に10%ほど落ち込んでいる。前年同月比においても同じく10%の減少である。
		広告業協会(役員)	それ以外	・バーゲンのシーズンであり、例年であれば、小売業からのテレビスポットやチラシの制作などで多忙なのだが、今年は小売業や流通業からの引き合いが非常に少ない。
	その他非製造業 [食料品卸売業](経営者)	取引先の様子	・景気が良いとの報道があるが、首都圏と地方では状況が異なる。水産加工を基幹産業としている地元では、景気の良い話は全く聞こえてこない。前年割れ、所得の減少という話が一般的である。	
	その他企業[企画業] (経営者)	それ以外	・ここに来て、中古不動産に対する問い合わせが増加している。土地の取得もあるが、建物のリノベーションへのニーズが高まっているように見受けられる。	
	x	食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・6月の酒税法などの一部改正により酒類の販売価格が上昇したため、販売量が激減している。
	x	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・店頭の売上が悪い。
雇用		-	-	-

関連 (東北)	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・複数年にわたって受託している大型案件は、システム変更に伴う原価高により、営業利益率が低下している。ただし、複数の企業からこれを上回る大口派遣案件の見積依頼があり、3か月前と比較して景気はやや良くなっている。
	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・東北エリアにおける求職者の登録数は過去最高を記録しているが、要因の一つに法人顧客の求人数の増加がある。個人でも応募できる案件が増加しており、転職に関する相談、情報収集に動く個人の動きが活発になっている。
	新聞社 [求人広告] (担当者)	求人数の動き	・求人数は前年並みで推移している。ただし、実際にはもっと求人需要はあるものの、深刻な人手不足であり、地方では諦めムードが強くなっている。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・コンビニなどの業種は、非常に人手不足である。
	職業安定所 (職員)	周辺企業の様子	・求人数はあまり変わらないが、新しい店舗がどんどん進出している。それに伴い雇用の確保も進んでいる。
	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・大学4年生の採用において、内定が6月から解禁となったが、学生は首都圏などに行ってしまうため、地元地方銀行、建設会社、外食産業などの多くの企業が、採用目標数を満たしていない。
	人材派遣会社 (社員)	雇用形態の様子	・働き方改革における長時間労働是正については、求人増加が見込めるため、業界としては追い風の状況となっている。
	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・有効求人倍率の高止まりが続いており、企業の採用への諦観はかわらない。
	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・求職者の動きは相変わらず減少傾向にあるものの、無期雇用化や就職率向上など、人材の固定化がますます進んでいるため、相対的にみれば少ないながらも登録者の確保ができています。
	アウトソーシング企業 (社員)	それ以外	・6月は一般団体からの仕事が減少する傾向にある。
	新聞社 [求人広告] (担当者)	求人数の動き	・建設業、サービス業、医療、福祉の分野で深刻な人手不足が続いている。
	職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・有効求職者は減少傾向が続いており、大きな変化はみられない。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・主に製造業、サービス業で求人数が増加している。多少の増減はあるものの、全体的には前年同月比10%の増加となっている。また、求職者数は自己都合離職者が増加に転じており、全体的に減少幅が小さくなっている。
	学校就職担当者	求人数の動き	・獲得求人数が前年同時期と比較して微増状態であり、大きな変化はみられない。
		*	*
x	-	-	-